

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用
目的	○県民が、全国に誇る島根固有の歴史・文化に理解を深め、次の世代へ保存・継承するとともに、魅力ある地域づくりのために、積極的な活用を目指します。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
島根の歴史・文化が豊かで、文化財の保存・継承と活用がされていると思う人の割合	目標値		68.8	69.2	69.6	70.0	%	目標値								
	取組目標値							実績値								
	実績値	68.5						達成率	-	-	-	-	-	-		%
	達成率	-	-	-	-	-										
	目標値						%	目標値								
	取組目標値							実績値								
	実績値							達成率	-	-	-	-	-	-		%
	達成率	-	-	-	-	-										
定性目標	平成28年度～平成31年度															
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）																

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<p>○島根の考古、古代史、中・近世史、民俗の基礎研究や島根の特徴的な歴史文化をテーマとした調査研究を行うとともに、研究成果を基に平成27年度に実施した古代出雲歴史博物館での2つの企画展では約34,000人の来館者を集めた。また、松江城天守国宝化や出雲国風土記、石見・隠岐の歴史文化等のシンポジウム、連続講座、巡回講座、ワークショップ等を開催し、約6,800人（前年比2,400人増）の参加者を集めた。さらに、石見銀山遺跡の調査研究の成果を報告書として発行するとともに、県内外で講座を6回開催し、570人の参加者を集めた。</p> <p>○新たに国宝1件（松江城天守）、国史跡1件（鯉淵寺境内）、国登録有形文化財4件（カラコロ工房（旧日銀松江支店）等）が指定・登録された。また、国・県指定文化財について、平成27年度は48件の文化財の保存のための助成を実施した。</p> <p>○普及活用事業として、心に残る文化財子ども塾（26回）や、いにしえ倶楽部（4回）、まちあるきイベント（16回）等を実施し、1,633人（前年比389人増）の参加者を集めた。特に、文化財子ども塾は募集（20から23校）を上回る26校の応募があった。</p>
---	--

④今年度末の施策目的の達成度予測

28年度の施策目的の達成度予測	判断	その理由
A:達成できる B:概ね達成できる（見直す点がある） C:達成は困難	B	<p>○シンポジウムや連続講座、巡回講座、ワークショップ、セミナーなど様々な情報発信を行い、多くの参加者を集め、その反応も良好で、島根の歴史文化に対する興味関心が高まるなど、文化財や地域の歴史文化に対する県民の意識は向上しつつある。</p> <p>○松江城天守の国宝指定等の新たな文化財の指定・登録や、国・県指定文化財の修理・整備への助成により、文化財の保存・継承の取組みが着実に進んできており、魅力ある地域づくりのための文化財の活用も進みつつある。</p>

⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況（予測） A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由（④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
	B	
(2)施策の目的達成に向けての課題		<p>○歴史文化に関する理解を深めてもらうため、調査研究の成果をわかりやすく情報発信していくことが必要である。</p> <p>○文化財を保存・継承していくために修理・整備を必要とするものが増加しつつある。</p> <p>○歴史文化の活用については、市町村や、NPO、公民館等の関係機関などとの連携による事業実施や、島根の歴史文化のすばらしさを県内外に継続して発信し、その関心をより高めていくことが必要である。</p>

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<p>○島根の歴史・文化に関する調査・研究をさらに進めるとともに、その研究成果を基に、島根の歴史文化の魅力効果を効果的・継続的に情報発信し、県民の島根の歴史・文化への理解を深めていく。特に、石見銀山遺跡については、世界遺産登録10周年に向けて調査研究をさらに進め、登録10周年記念展をはじめ、その成果をわかりやすく情報発信していく。</p> <p>○国、市町村と連携して文化財の修理・整備が計画的に実施されるよう努めるとともに、県内の優れた文化財のうち未指定のものについて、その価値を調査・研究し新たな指定を目指すことなどにより、島根の歴史・文化の次の世代への保存・継承を着実に進めていく。</p> <p>○市町村や、NPO、公民館等の関係機関などと今後も連携を図りながら、島根の歴史・文化、認定された県内の日本遺産等の効果的な活用につながるような取組みを進める。</p>
---------------------	--

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用				
-------	----------------------	--	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	指定文化財等保護事務	県民が、郷土への愛着や誇りを持てるよう、文化財を将来にわたって確実に継承し、活用できるようにする。	1,366	1,519	文化財課
2	歴史遺産保存整備事業	文化財の滅失や損傷を防ぎ、将来に継承していくため、歴史遺産の保存・整備事業を実施する。	222,033	177,819	文化財課
3	八雲立つ風土記の丘事業	風土記の丘地内の史跡や文化財を通して県内の文化財への興味・関心を高め、文化財を身近なものと感じるようにする。	61,174	61,174	文化財課
4	古墳の丘古曾志公園事業	古墳などの史跡にふれあう憩いの場所を提供する。	6,142	6,142	文化財課
5	古代出雲歴史博物館管理運営事業	島根の歴史文化に関する研究成果の発信、学習・交流機会の提供により、県内外の方々に島根の歴史文化の魅力発信し、理解してもらう。	376,475	387,960	文化財課
6	埋蔵文化財保護事務	開発にあたり貴重な文化財が破壊あるいは消失しないよう、計画段階で必要な協議を行い、適切な調整がとられるようにする。	41,188	10,044	文化財課
7	文化財活用事業	子供から高齢者までの幅広い世代に島根県の歴史文化を学習する機会を積極的に提供し、ふるさとを誇りに思う心を醸成することで、県民の心の豊かさの向上に寄与する。	2,590	3,340	文化財課
8	埋蔵文化財調査センター事業	開発地域内の埋蔵文化財発掘調査を行いその価値を明らかにして、調査で得た情報を県民に還元すると同時に開発事業と文化財保護との調整を円滑に行い、適正な公共事業の促進を図る。	533,573	932,495	文化財課
9	古代文化の郷「出雲」整備事業	出雲地方に存在する貴重な文化遺産を、野外博物館としてネットワーク化を図り、物語性のある歴史探訪ルートとして活用してもらう。	236	39,486	文化財課
10	未来に引き継ぐ石見銀山保全事業	世界遺産「石見銀山遺跡」の調査研究を継続し、適切な保存整備の実施と活用を図ることで、その文化遺産を未来に継承していく。	140,708	160,444	文化財課
11	古代文化研究事業	県内外の人々に、しまねの豊かな歴史文化の研究成果を享受してもらうことで、県民には郷土に対する自信と誇りを高めるとともに、県外の人々には島根県の魅力を知ってもらう。	29,531	33,144	文化財課
12	島根の歴史文化活用推進事業	しまねの豊かな歴史文化を、県民、国民に広め、県民には郷土への自信を培ってもらい、県外の人々はしまねの歴史文化の素晴らしさを知ってもらう。	65,786	68,235	文化財課
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					